

●神戸・加古川両製鉄所の生産体制を強化

当社は、自動車用ボルト・ナット、エンジン用弁ばね等の高級特殊鋼の生産比率向上によって神戸製鉄所の競争力強化を図るため、ブルーム連続铸造機(生産能力:約72万トン、平成18年9月稼動予定)の更新を決定しました。加えて、現在稼動中の第3号高炉は、平成19年度の稼動に向けて改修を行なうこととしました。

一方、自動車の軽量化・安全性向上に寄与するハイテン(高張力鋼板)、放熱性鋼板、高張力ヒズミレス厚板、スチールコード用線材などを生産する加古川製鉄所では、平成19年3月建設完了に向けて、現在休止中の第2号高炉を炉容積約5,400立方メートルに改修し、第1号高炉(炉容積4,550立方メートル)とスイッチすることとしました。第2号高炉は、微粉炭の使用拡大などによるコストダウンを図るとともに、蓄積された操業ノウハウや炉底への高熱伝導性カーボン煉瓦の採用などにより、約25年の長寿命化を目指します。



神戸製鉄所第3号高炉

●非汎用圧縮機の受注好調

当社は、スクリュ、レシプロ、ターボの各種非汎用圧縮機を製造・販売する世界でも数少ない総合圧縮機メーカーです。また、天然ガスの排ガスを回収・再利用する圧縮機や天然ガス発電の効率を向上させる燃料ガス昇圧用圧縮機など新用途、省エネ機などの開発にも力を入れており、ユーザーから高い評価を得ています。

本年度上期は、主力であるスクリュ圧縮機において海外大型案件を受注するなど、注力分野であるエネルギー・ガス分野や石油化学分野で受注拡大を進め、過去最大の受注量を達成しました。今後も、注力分野を中心に受注拡大活動を展開し、高収益確保を目指していきます。



高圧スクリュ圧縮機

●アルミニウムドロスの有効活用で「経済産業大臣賞」を受賞

当社は、日本軽金属株式会社とともにアルミニウム溶解時に発生するアルミニウムドロス(注)の有効活用で、リデュース・リユース・リサイクル(3R)推進協議会より「3R推進功労者等表彰／経済産業大臣賞」を受賞しました。

当社が東京電力株式会社と共同で開発したアーク炉による処理方法により、アルミニウムドロスに含有するアルミニウムを従来にない高い効率で回収(リユース)できるとともに、従来、埋立て処理されていた残渣を高温処理によりセメント原料として使用(リサイクル)することができ、この結果、埋立て処分されていた産業廃棄物を大幅に削減することができました(リデュース)。これら3Rへの積極的な貢献が今回評価されました。

(注)アルミニウムドロス:アルミニウム溶解時に発生する不純物や酸化物を多く含んだ金属物質



「経済産業大臣賞」を受賞